

京都大学における 認証の課題

中村素典

2021.7.8

KYOTO UNIVERSITY

京都大学



京都大学にかかわる「ユーザ」

- 常勤教職員 約7,500名
- 非常勤教職員 約4,400名
 - これらのうち附属病院所属 約3,500名

- 学部学生 約13,000名
- 大学院生 約9,600名
- 研究生、聴講生等 約50名
- 学振研究員等 約750名

「ユーザ」に付与するID

- SPS-ID
 - 教職員等向けサービス用
 - 教職員グループウェア、教職員用メールKUMail (Gmail)
 - 財務会計、人事給与、就業管理など
 - Google連携サインインを利用するZoom全学ライセンス
- ECS-ID
 - 学生等向けサービス用
 - 学生用メールKUMOI (Microsoft 365)
 - 共通サービス
 - ネットワーク利用、安否確認、教務情報、LMS、電子ジャーナル、
 - 学認RDM、学認LMS、…
- その他
 - スパコン、附属病院、生涯メール、…

スパコン（全国共同利用） 学外者を含むアカウント発行

1. オンラインによる仮申請
 - 所属機関とメールアドレスを記載
2. 本申請用URLを通知
 - 「押印＋郵送」のオンライン化を検討
 - 他大学のIdP（学認）で氏名情報を送ってくるものが少ない
 - IdPのない機関（ユーザ）
3. 利用開始手続き用URLを通知しスパコンアクセス用の鍵を登録
 - 全体としてメールアドレスの信頼性に依存している
 - HPCIの場合は「本人確認」を行う手順がある
 - 共同研究者については、代表者による本人確認

今後に向けた課題

- ID管理
 - 発行手続き、本人確認手続きの整理
- ID連携
 - 病院システム、生涯メールサービス等
- 学外者（非常勤講師、スパコン利用者等）
 - 大学側での本人確認には限界がある